

環境報告書をご存じですか？

環境報告書は、事業者が環境負荷及び配慮等の取組状況について公表するものです。本学では、環境配慮促進法等に基づき、2006年度から毎年作成しています。

詳しくは➡ <http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/intro/kankyo/index.html>

本紙「HU-eco」は、環境報告書の一部を紹介しつつ、大学としての環境配慮活動へのご理解とご協力を、構成員のみなさまに願うための広報誌です。

環境報告書2014版の内容 (2013年度の実績報告)

- 学長ステートメント：本学における環境配慮行動についての考え方
- 広島大学基本理念・環境基本理念・行動方針
- 大学概要
- 環境管理体制
- 2013年度の目標と実績
- 中期目標（2009～2013年度）の総括
- ◇本学における環境教育（毎年、その一部を紹介しています）
 - 教養教育／生物生産学部・生物圏科学研究科／文学部・文学研究科
- ◇環境研究（毎年、その一部を紹介しています）
- ◇社会貢献・国際貢献・学生活動（毎年、その一部を紹介しています）
- ◇キャンパスの自然環境
- ◇環境負荷削減の取組みと実績
- ◇環境リスク低減の取組みと実績
- ◇環境に関する規制等の順守状況
- ◇環境報告ガイドライン（2012）との対照表
- 第三者コメント・環境活動評価委員会コメント
- キャンパスマップ、編集後記



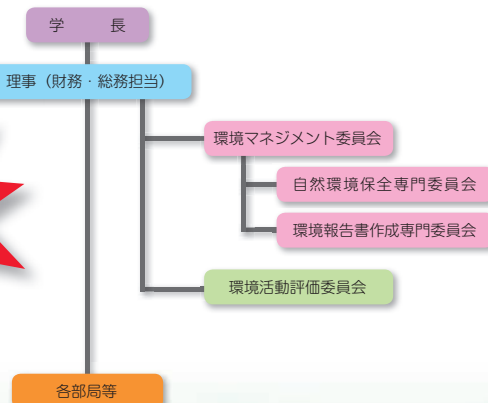
国際大学間コンソーシアムを活用した平和・環境分野における協働教育

2014年度の環境目標

- ◆環境教育・研究の推進
 - *環境・安全教育の全学実施
 - *教養教育、専門教育等を通じた環境意識の醸成
 - *環境研究の連携強化と促進
- ◆社会貢献の推進
 - *地域社会・市民と連携した環境保全活動の推進
 - *地域・国際社会の環境問題解決に向けた取組みの推進
 - *学校教育から生涯学習までの地域環境教育への貢献
- ◆自然環境の保全
 - *キャンパス内の生物相の把握
 - *キャンパス内の生物多様性を守る生態系管理体制の構築
 - *キャンパスの自然環境の管理・保全の実施
- ◆資源の有効利用の推進
 - *エネルギー使用原単位の削減
 - 2013年度比1%削減
 - 2015年度までに2013年度比2%削減
 - *水使用量の削減と資源化の促進
 - 水使用量の削減（2012年度実績より減）
 - 水再利用の促進
 - *廃棄物の削減と資源化の推進
 - 資源化促進による可燃ごみ排出量の削減（2012年度実績より減）
 - *コピー用紙購入量の削減
 - 2012年度実績より減

ここがポイント!!
2013年度に
未達成の課題

本学の環境管理体制



キャンパスは「まるごと博物館」

— キャンパスの自然環境の保全と活用 —

※詳しくは、環境報告書の p.19～23参照

2013年度環境目標と実績

環境目標	主な活動実績
キャンパスの自然環境の管理・保全	<ul style="list-style-type: none"> ・植物管理室によるキャンパス内の植生管理を実施 ・樹木の剪定及び害虫駆除を実施 ・自然環境保全に関する検討WGを設置し、実態把握と課題検討を実施
キャンパスの自然環境の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・総合博物館による「フィールドナビ」を実施 ・スポーツ実習教育・野外観察において土質層位区分等の土壌観察を実施 ・ピオトープを活用した親子観察会を実施 ・園児・児童の農場見学や動物と触れ合う体験を通して環境教育を実施



フィールドナビの様子

東広島キャンパスの環境管理：ゾーニングと注目ポイント

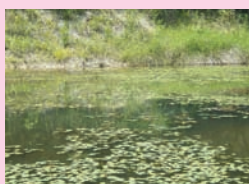
東広島キャンパスは約250haの広大な敷地の中に、山林、ため池、溪流など多様な環境を含んでおり、そこには多様な動植物が生息しています。

大学に必要な機能・利便性を確保しながら豊かな自然と共生していくため、本学では、「自然区」「半自然区」「管理区」の利用目的と環境特性に応じたゾーニング管理を実施しています。



トピックス キャンパスのため池

キャンパス内のぶどう池では、ジュンサイ、ヒツジグサなど多くの水草、キャンパスに隣接した山あいの水のきれいなため池ではベニオグラコウホネ、マルバオモダカなど、池岸の湿地では、湿地特有の植物が生育しています。東広島キャンパスには、30種以上の絶滅危惧種が存在しており、自然環境保全のため必要な管理を行っています。



図の説明：
大学の保全活動により守られた山あいため池の希少な水草類

学生環境サポーター

2013年度から、大学の環境活動の企画運営に参加する学生ボランティア「学生環境サポーター」を募集し、次のような活動を行っています。

- 学生企画による環境教育イベント
- キャンパス植生調査
- 学内の省エネポスターの作成
- 清掃活動等への参加 等

現在12名で
活動中！



学童保育での環境教育（紙芝居）の様子

* 詳しくは下記 URL をご覧ください。
広島大学 HP > 大学案内 > 環境への取り組み > 学生環境サポーター
<http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/intro/kankyo/kankyousupporter/>

<お問い合わせ先>

財務・総務室総務グループ
TEL : 082-424-6132
E-mail: soumu-koyu@office.hiroshima-u.ac.jp

資源の有効活用を進めよう

※詳しくは、環境報告書の p.24~29参照

2013年度の環境目標と実績

	項目	2013年度目標値	2013年度活動実績
エネルギー	エネルギー使用原単位※の削減	前年度比1%削減	1.01%増 (2012年度比)
		2013年度までに5%削減 (2008年度・・・基準年)	3.84%減 (2008年度比)
水	水使用量の削減	2008年度実績より削減	5.0%減 (2008年度比)
	資源化の促進	水再利用の促進	17.6% (対上水使用量比)
可燃ごみ	廃棄物の削減と資源化の促進	資源化促進による可燃ごみ排出量の削減	2.3%増 (2012年度比)
		2013年度までに20%削減 (2008年度比)	1.0%増 (2008年度比)
紙	コピー用紙購入量の削減	2012年度実績より減	2.3%増 (2012年度比)

前年度より後退!!



トピックス 設備的な工夫によるエネルギー消費削減

外灯設備に LED 導入
221基 (2009~2013年度実績)
電力削減量・・・121千 kWh / 年(2013年現在)
※年間電力量の0.14%削減
2009年度から2013年度までに、580千 kWh の電力量を削減しました。

一般照明器具の高効率型器具への更新
4,825個 (2009~2013年度実績)
電力削減量・・・346千 kWh / 年(2013年現在)
※年間電力量の0.40%削減
2010年度から2013年度までに、1,084千 kWh を削減しました。

※エネルギー使用原単位：各エネルギー（電気・ガス・重油）消費量を原油換算し、対象建物の延べ面積で除した値

2013年度

広島大学で使っているエネルギーは、

- 全学エネルギー消費量（熱量換算）1,051,299 GJ / 年（※1約105,000MWh / 年）
⇒ 構成員※2 1人1日当たり 126.3MJ / 人 / 日（約 13kWh）
例えると一般の電気ポット（500W）を24時間連続使用する場合と同じになります。
- 全学 CO₂排出量 75,165t-CO₂
※1 省エネ法による電力量換算値
※2 構成員：全学の教職員と学生、生徒、児童、園児の総数（約22,790人）

広島大学で出たごみは、

- 一般廃棄物排出量（全学） 約910t
- 可燃ごみ（2012年度比） 約13t 増
- ペットボトル回収量 32,332kg / 年⇒約2,200本 / 日

混ぜればごみ、分ければ資源



研究室や事務室に分別 BOX を設置し、分別し易い環境を作りましょう!!

分別すればリサイクル可能な紙（封筒類、紙袋、包装紙、菓子箱など）が、**可燃ごみ**として出されています。可燃ごみを減らし、資源を有効活用するためには、**ごみ分別の徹底**が重要です。これらの紙は雑誌類に分別し、資源化しましょう。

トピックス 太陽光発電設備の設置

学生プラザ（2011年度）10kW
東図書館（2012年度）20kW
診療棟（2013年度）30kW
工学部研究棟（2013年度）20kW
その他附属学校等に9基 約111kW

2013年度現在で全学の年間電力量の約0.22%を発電しています。



皆様のご理解とご協力をお願いします

「資源の有効利用の推進」区分についての 中期目標（2009～2013年度）の総括

※詳しくは、環境報告書の p.7, 24～29参照

5年間の実績評価

広島大学では、環境目標の「資源の有効利用の推進」区分について、2009年度から2013年度までの5年間の目標を定めてきました。2013年度はその最終年度に当たるため、環境活動評価委員会が5年間の活動実績を評価しました。

【総評】

「エネルギー使用原単位の削減」における中期目標は、前年度比1%削減、5年間で2008年度比5%削減。実績として、前年度比1%削減目標を達成できた年度と達成できない年度があり、2013年度は2008年度比で3.8%の削減にとどまっている。

「水使用量の削減と資源化の促進」における中期目標は、2008年度実績より削減。実績として、2010年度（1.2%増）を除き、そのほかの年度では全て目標を達成できている。引き続き、目標値達成に向けた取組みが必要。

「廃棄物の削減と資源化の推進」における中期目標は、5年間で2008年度比20%削減。実績として、2013年度は2008年度比1.0%の増加となり、目標値にはほど遠い結果となった。数値目標の設定に当たっては、現状分析を踏まえて十分検討の上、実効性のある目標設定が必要。

「コピー用紙購入量の削減と資源化の促進」については、年度により削減目標が定められてきた。実績として、2012年度は前年度に比べ3.7%削減し2013年度は前年度に比べ2.3%増加しているが、これは消費税対策のための前倒し購入によるもので、段階的な削減ができていない。今後は、中期目標としての目標設定の検討が必要。

【各部局等】

部局等別の環境配慮活動実績については、中期目標で定めた環境目標に沿った環境配慮活動がなされているにもかかわらず、目標値を達成できていない部局等が多くあった。今後は、環境配慮活動の効果が十分でなかったことの分析と対策並びに効果的な活動の策定を検討し、更なる環境配慮活動の取組みが必要。

主要3キャンパスの5年間の推移

